

1590 | 教師論

2 単位（通信授業 2 単位）

高橋陽一教授、桑田直子講師

授業の概要と目標

本授業科目は、教育職員免許法施行規則に定める「教職の意義に関する科目」であり、「教職の意義及び教員の役割」、「教員の職務内容（研修、サービス及び身分保障等を含む）」及び「進路選択に資する各種機会の提供等」を内容としている。具体的には教員の役割や歴史、そして特に美術、工芸、情報の教員の職務とその意義について理解を深めることが期待される。

課題の概要

○通信授業課題 1

「教員生活や教員社会の特徴について、経験豊かな教員あるいは恩師の教員からヒアリングを行い、それをもとに自分なりの理想的教員像を論じなさい。」

教科書を参考に論述すること。

○通信授業課題 2

「子どもの個性を引き出し、伸ばすということについて、美術・工芸・情報科の教員の役割を論じなさい。」

教科書を参考に論述すること。

*課題については学習指導書『造形文化科目・教職に関する科目 平成 29 年度』を必ず参照すること。

授業計画

[通信授業]

『教師論』を読みながら学習を進め、通信授業課題に取り組むこと。

第 1 部 教員の役割と歴史

- 第 1 章 現代の教員養成のあり方と武蔵野美術大学
- 第 2 章 近代日本における教員養成の展開
- 第 3 章 欧米における教員養成の歩み
- 第 4 章 教員のサービス
- 第 5 章 教員の資格と任用

第 2 部 美術の教師

- 第 1 章 小学校の図工専科教諭
- 第 2 章 中学校の美術教諭
- 第 3 章 高等学校の美術教諭
- 第 4 章 コース制高等学校の美術教諭
- 第 5 章 中等教育学校の美術教諭
- 第 6 章 養護学校の美術教諭
- 第 7 章 こどもの城の指導員

成績評価の方法

○科目試験

教科書全体の範囲より出題する。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 2～4 年次

[履修条件] 教職課程に登録していること。

[備考] 2 年次の履修が望ましい。

教材等

教科書：高橋陽一編『新しい教師論』（武蔵野美術大学出版社 2014 年）

学習指導書：『造形文化科目・教職に関する科目 平成 29 年度』

（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2017 年）